

平成 2 1 年度当初予算 施策別概要

4 2 2 森林のもつ公益的機能の 発揮

(主担当部 : 環境森林部)

42201	環境林整備の推進	(環境森林部)
42202	生産林整備の推進	(環境森林部)
42203	森林づくりへの県民参画の推進	(環境森林部)
42204	森林文化および森林環境教育の振興	(環境森林部)

< 施策の目的 >

(対象) 県民が

(意図) 森林の公益的機能を楽しんでいる

< 施策の数値目標 >

施策目標項目 (主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
間伐実施面積	目標値		8,000ha	8,000ha	8,000ha	8,000ha
	実績値	7,452ha	9,074ha			

県内の民有林で行われる年間の間伐実施面積 (環境森林部森林保全室調べ)

県の取組目標項目 (副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
森林づくり参加者数	目標値	-	12,000 人	13,000 人	14,000 人	15,000 人
	実績値	11,596 人	12,355 人			

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・ 森林は、おいしい水やきれいな空気など、私たちの生活にとってかけがえのない多くの恩恵をもたらしています。これまで三重県の森林は、林業生産活動による「木を植え、育て、収穫し、また植える」緑の循環をとおして守り育てられてきましたが、木材価格の低下や需要の減少等により林業生産活動が停滞し、手入れ不足に加え、シカ等の獣害により、森林の荒廃や公益的機能の低下が懸念されています。
- ・ 森林の恩恵は広く県民に享受されていることから、今後の森林づくりにおいては、多様な主体による「木を使う」「森林を守る」などの森林づくりにつながる具体的な行動を広めるとともに、林業経営をとおした森林の保全を進めるなど、社会全体で森林づくりを支えるしくみづくりが課題となっています。

< 平成 2 1 年度の取組方向 >

環境林については、針広混交林への誘導などにより、公益的機能が継続的に発揮される森林づくりを進めます。また、生産林については、林業生産活動をとおして公益的機能の発揮をはかるため、森林資源の成熟化が進む中、森林の団地化・施業の集約化により利用間伐の推進や、獣害防止対策など適切な森林管理を進めます。

県民の森林に対する理解を深めて森林づくりへの参画意識の醸成をはかり、「森林は大切」という意識を、「森林を守る」という具体的な行動に結びつけるとともに、地域内の連携や地域間の交流を活性化して、多様な主体による森林づくりを進めます。

<主な事業>

(重) 森林環境創造事業【基本事業名：42201 環境林整備の推進】

予算額：(20) 296,316 千円 (21) 241,968 千円

事業概要： 環境林に区分された森林のうち、所有者から20年間管理委託を受けた森林を公共財として位置づけ、森林の公益的機能が持続的に発揮されるよう、間伐などにより針葉樹と広葉樹の混交林への誘導を行うなど多様な森林づくりを行います。

(重) 環境林整備治山事業【基本事業名：42201 環境林整備の推進】

予算額：(20) 164,000 千円 (21) 155,800 千円

事業概要： 居住地などの上流部に位置する環境林内の保安林等において、災害に強い森林づくりのための間伐を実施します。

(重) 造林事業【基本事業名：42202 生産林整備の推進】

予算額：(20) 332,626 千円 (21) 342,603 千円

事業概要： 森林の公益的機能の高度発揮をはかるため、植栽、下刈、間伐等の森林整備を促進します。

(重) 高齢林整備間伐促進事業【基本事業名：42202 生産林整備の推進】

予算額：(20) 195,000 千円 (21) 168,000 千円

事業概要： 植栽から伐採までの育成期間の長期化に対応して森林を健全に育成するため、生産林において、高齢級(36年生以上)の森林の間伐を促進します。

(重) 森林とのふれあい・学び事業【42204 森林文化および森林環境教育の振興】

予算額：(20) 9,069 千円 (21) 8,001 千円

事業概要： 森林環境教育の振興を図るため、指導者の養成、フィールドの整備、体験教室の開催、学習推進にかかるコーディネートを実施します。また、森林文化の振興を図るため、森林や木とのふれあいを促進する各種事業を実施します。

(重) 多様な主体による森林づくり事業【42203 森林づくりへの県民参画の推進】

予算額：(20) 2,916 千円 (21) 2,347 千円

事業概要： 森林環境に関心を寄せる企業による「企業の森」づくりや、ボランティアによる「ボランティアの森」づくりを促進するため、森林所有者との仲介や技術サポートをします。また、流域を単位とし、流域の住民、自治体、企業、NPO等と協働し、流域の森林を考える場をつくります。

(新) 森林資源情報管理システム整備事業【基本事業名：42201 環境林整備の推進】

予算額：(20) - 千円 (21) 39,625 千円

事業概要： 導入から7年が経過した現行森林GISシステムに係る諸課題に対応するため、市町や森林組合と連携したデータ更新を可能とするなどの機能を備えた新たなシステムを導入します。